

多発性骨髄腫

DLd療法(3~6コース目)

1コース 4週

薬剤・略号	商品名	投与量	投与日
ダラツムマブ	ダラザレックス	16 mg/kg	Day1,15
レナリドミド	レブラミド	25 mg	Day1~21 ※1
デキサメタゾン	レナデックス	20 mg	Day2,8,9,16,22,23 ※2

※1 Ccr30~60では10mgに減量

※2 75歳以上またはBMI 18.5未満はday2,9,16,23を省略

Day1,15	
(1)	生理食塩液 100ml / ルートキープ (外来のみ)
① (2)	デキサート注(6.6mg) 3V + ポラミン注(5mg) 1A + 生理食塩液 100ml / 入院:ダラザレックス投与2時間前から1hrでDiv / 外来:ダラザレックス投与1時間前から30minでDiv
② (3)	アセリオ注(1000mg) 1P / 入院:ダラザレックス投与1時間前から15minでDiv / 外来:ダラザレックス投与30min前から15minでDiv
③	生理食塩液 20ml / フラッシュ(入院のみ)
Y ④ (4)	ダラザレックス ()mg/body + 生理食塩液 500ml / ※3 インラインフィルター付ルートを使用
Y ⑤	生理食塩液 50ml / 後押し(入院のみ) Y字から投与, バッグアダプタ使用

【↑ ○囲い数字は入院、()付数字は外来】

※3 生理食塩液で希釈し最終投与液を500mlとする。

ダラザレックス投与速度

0~1時間	100ml/時
1~2時間	150ml/時
2時間以降	200ml/時

infusion reaction 発現時

1) Grada 1~3

ダラザレックスの投与を中断。回復した場合は、infusion reaction発現時の半分以下の投与速度で再開する。Infusion reactionの再発が無ければ、投与速度を増量可。Grade 3のinfusion reactionが3回発現したら投与中止。

2) Grada 4

ダラザレックスの投与を中止。